

第 59 回
東北社会学会大会プログラム

第一日目：2012 年 7 月 15 日（日）

第二日目：2012 年 7 月 16 日（月）

15 日（日）	9:20 -	受付	基盤教育 1 号館
	9:50 -	開会の辞	122 教室
	10:00 - 12:00	特別部会	122 教室
	12:00 - 12:50	理事会	21 演習室
	13:00 - 17:00	課題報告	122 教室
	17:00 - 18:00	学会総会	122 教室
	19:00 - 21:00	懇親会	山形国際ホテル
16 日（月）	10:00 - 12:00	自由報告 I	123, 124, 125 教室
	13:00 - 15:00	自由報告 II	123, 124, 125 教室
	15:00 -	閉会の辞	123 教室

会員控え室：121 教室
大会事務局：21 演習室

大会参加費 一般・院生：1,000 円
懇親会会費 一般：6,000 円
院生・学生：4,000 円

主催 東北社会学会
担当校・会場 山形大学

第一日目

開会の辞 9:50 122 教室 会長 小林一穂

特別部会 10:00-12:00 122 教室

テーマ： 社会問題としての東日本大震災——被災地での社会調査から見えてきたもの

(司会 東北大学 下夷美幸)

- | | | |
|---|--------|------|
| 1. 思い出を“サルベージ”する技術
——災害支援としての社会調査—— | 大妻女子大学 | 柴田邦臣 |
| 2. 復興計画策定に社会調査は役に立ったのか?
——大船渡市の復興へのかかわりから—— | 岩手県立大学 | 茅野恒秀 |
| 3. 震災被害にどのような格差があるのか
——被害と社会階層に関する 2011 年仙台防災意識調査の計量分析—— | 立教大学 | 村瀬洋一 |

(*報告題名は変更される可能性があります)

課題報告 13:00-17:00 122 教室

テーマ： 科学・リスク・倫理 (司会 名古屋大学 青木聡子)

- | | | |
|---------------------------------------|---------|-------|
| 1. 科学技術のリスクと<制度的リスク> | 北海道教育大学 | 小松丈晃 |
| 2. 3.11 以後の科学技術と倫理 | 東北大学 | 野家啓一 |
| 3. 「科学技術」を変革するための科学論
——創発と批判的实在論—— | 東洋大学 | 中山伸樹 |
| コメンテーター | 東北大学 | 長谷川公一 |
| | 椋山女学園大学 | 水島和則 |

(*報告題名は変更される可能性があります)

学会総会 17:00-18:00 122 教室

懇親会 19:00-21:00 山形国際ホテル

第二日目

自由報告 I 10:00-12:00

A 部会 理論・学説 (司会 盛岡大学 清水晋作) 123 教室

- | | | |
|---|--------|---------------|
| 1. 相互作用論としての逸脱行動論の検討
——H.S.ベッカーにおける逸脱研究の方法・態度—— | 東北大学 | 佐久間正弘 |
| 2. 「平等な自由」の追求者ダール
——そのプラグマティズムと、そこから見た現代日本の議論状況—— | 東北薬科大学 | 上田耕介
他 (非) |
| 3. 社会学的システム理論の基本単位をめぐる議論について
——システム理論、行為理論、およびメディア理論—— | 京都大学 | 高橋顕也 |
| 4. スチュアート・ホールの教育論
——サッチャリズムにおける「教育の政治学」分析を手がかりに—— | 東北大学 | 牛渡亮 |

B部会 教育 (司会 東北学院大学 片瀬一男)		124 教室
1. 学校システムと教育機会の不平等 ——多項トランジションモデルによる階層間格差の構造分析——	東北大学	濱本真一
2. 1990年代以降の日本における進学機会格差の動向	東北大学	鳶島修治
3. 現代高校生の規範意識 ——世代論か発達論か?——	東北大学 東北大学	余田翔平 木村邦博

C部会 医療の政治 (司会 和歌山県立医科大学 本郷正武)		125 教室
1. なぜ病院ボランティアは停滞しているのか? ——Stakeholdersの明確化という視点から——	北海道大学	竹中健
2. 「病いととも生活する人々」と患者観の転換	東北大学	山田香
3. 優生政策におけるハーバーマスの理論の応用と展開について	東北大学	磯崎匡

自由報告Ⅱ 13:00-15:00

D部会 在宅ホスピス (司会 東洋大学 原山哲)		123 教室
1. 在宅ホスピス調査の企画と設計 ——在宅ホスピス遺族調査報告(1)——	九州大学 医療法人社団爽秋会 島根大学 昭和大学	藤本穰彦 相澤出 諸岡了介 田代志門
2. 予後告知をめぐる医師-患者間のコミュニケーション ——在宅ホスピス遺族調査報告(2)——	昭和大学	田代志門
3. 自宅での療養生活の選択と中断 ——在宅ホスピス遺族調査報告(3)——	医療法人社団爽秋会	相澤出

E部会 震災・地域 (司会 新潟大学 松井克浩)		124 教室
1. 東日本大震災において実行されたソーシャル・サポートが被災者のメンタルヘルスに及ぼした負の効果 ——ネガティブ・ラベリング仮説による説明——	日本学術振興会	塩谷芳也
2. 被災地における震災9カ月後の生活と意識 ——「復興に関する大船渡市民の意識調査」の分析——	岩手県立大学	阿部晃士
3. 中国内モンゴル自治区における牧民の生活と意識の変容 ——シリンドル盟シヨローンフフ旗の事例——	東北大学	何淑珍

F部会 キャリア・ジェンダー (司会 山形大学 山根純佳)		125 教室
1. 男きょうだいの存在が女性の教育達成に与える影響	東北大学	苦米地なつ帆
2. 転職はどこで生じているか ——マクロデータを用いた検討——	東北大学	石田賢示
3. ライフスタイル移民と国際結婚 ——インドネシア・バリ島における日本人女性の事例から——	東北大学	ニ・ヌンガー・ スアルティニ

閉会の辞 15:00-		123 教室	山本英弘
------------------------------	--	--------	------